

6部

ご案内



東日本大震災による特別対応は、p. 3～5に記載しています。前号の『With』74号 p. 4～10と合わせてご一読ください。

なお、用紙不足のため、今後の『With』での事務連絡はできるだけ簡潔にご案内いたします。『学習の手引き』などとあわせてお読みください。

1 新入生の方へ

新入生の方へのご案内が前号の『With』74号6部 p. 75～82に記載されています。まだお読みでない方は、是非ご一読ください。

通信教育での学習は、(1)レポートを作成する、(2)スクーリングを受講する、(3)科目修了試験を受験する、の3つが基本です。レポート作成にとまどわれる方も多いのですが、まずはじっくり教科書や参考図書を読み、そしてある程度（たとえば1課題あたり20時間など）勉強したなと思ったら是非学習内容をまとめるべく書き出してみてください。書き出さないと、なかなか前に進みません。

現時点で在宅学習に困難を感じる方は、是非積極的にスクーリングを受講してください。スクーリングは英語や演習科目を除いて事前にレポートを出さなくても受講できます。

2 平成23年度スクーリング開講予定・科目修了試験実施予定

平成23年度のスクーリング開講予定などは、4/21発送の『試験・スクーリング 情報ブック2011』掲載の情報が最新です。『レポート課題集2011(3・4年次)』p. 18～の変更点は『With』74号でご案内したとおりですが、それ以外の変更は下記のとおりです。

●科目修了試験

- ・9/10(土)仙台中止。9月仙台は9/11(日)13:45～のみで実施。

●スクーリング

- ・環境心理学VTR仙台(訂正前) 7/31・8/1→(訂正後) 8/7～9
- ・その他、インターネット配信授業をビデオスクーリングに変更して実施させていただく会場が出る場合があります。この場合は、放送授業扱いとせず、通常のスクーリング単位が修得できるものとします。

今後の追加・変更は、次号以降の『With』でご案内いたします。3/19～21に中止になった郡山会場の「福祉社会学 VTR」は本年10月以降に何かのかたちで追加開講を実施したいと考えております。

なお、『With』発行予定も『試験・スクーリング 情報ブック2011』p.4～5に記載のとおりですが、p.6～17のカレンダー記載の日程までに、『With』が届かない場合は未着申立て期間内に至急ご連絡をお願いいたします。

3 印刷物訂正のご案内

新年度向けの印刷物で、『With』74号 p.89でお知らせしたもの以外に、下記の箇所が誤植となっています。大変申し訳ございませんが、訂正のうえ、ご利用ください。

●『With』74号 p.49 児童青年心理学 正しい時間は下記

6/11 10:50～17:30 6/12 9:20～17:30

6/13 9:00～14:10

4 / 5・6月スクーリング補足情報

6月までのスクーリングで土曜日の学生食堂は開店しています。また、4/30～5/5、5/22、6/12、6/26も開店予定です。また、6/4・5はステーションキャンパス館 郷（ふるさと）が開店予定です。

- 社会福祉援助技術総論 札幌5/3～5 ビデオ・スクーリングに変更して実施します（放送授業単位とはいたしません）。
- 福祉行財政と福祉計画 仙台4/30・5/1 3号館3階331教室に変更。
- 生涯発達心理学 仙台 4/30～5/2 1号館2階122教室に変更。

5 / 特講科目・履修登録者へのご注意

特講科目履修登録・履修取消期限は『試験・スクーリング 情報ブック 2011』p.51のように設定しています。年度始めの履修登録で登録していない特講科目を受講したい場合は、7/7締切の追加履修登録（次号の『With』でご案内予定）を利用してください。

6 / レポート添削の状況について

4月20日現在、3月9日までに提出されたレポートで未返却の科目は下記のとおりです。

「観光と文化」「高齢者福祉論」

また、震災のため3月10～31日に到着したレポートはまとめて4月1日に先生方に依頼しました。添削終了までしばらくお待ちください。

7 教科書発送の遅れと送付について

4月20日現在、以下の科目の教科書が後送になり、現在の状況は下記のとおりです。発送済教科書が未着の方は至急お申し出ください。

●下記以外の科目の教科書で後送になった科目

4月27日までの間に後送分の教科書を発送いたしました。未着の方は5月10日までにお申し出ください。

●法の基礎（日本国憲法を含む）

5月下旬以降発送予定です。

●福祉と経済・健康科学

教科書倉庫が被災し、他に在庫がないため、送付時期は未定です。

なお、現在教科書発送作業は、愛知県小牧市のヤマト運輸関連会社などから行っています。到着後内容をよくご確認いただき、不足の教科書があれば到着後1週間以内にお申し出ください。

8 試験結果等発送予定

冬期スクーリングⅣ（3/4～3/21）試験結果	4月7日発送済
春期スクーリングⅡ（4/9～24）試験結果	5月24日発送予定
5月科目修了試験受験許可証	4月28日発送予定
4月生（進級者のみ）履修状況票	4月22日までに発送済

※履修状況票の見方『学習の手引き』2011年版 p. 170, 2008補訂版 p. 119参照。

『試験・スクーリング 情報ブック2011』 4月21日発送済

『学習の手引き』2008補訂版(20年度以前入学者) 4月21日発送済

新入生学生証(1～3期) 4月15日より順次発送済

(4～6期) 5月10日より順次発送予定

発送物については、通信教育部ホームページ上の「新着情報」やTwitterでもご案内しています。ご利用ください。

また、3月末までに到着したスクーリング中止や欠席分のご返金は、口座不明者を除き4月14日に振込みをいたしました。ご確認ください。

9 奨学金のご案内

下記のとおり平成23年度「日本学生支援機構奨学金」の申請を受付けます。『学習の手引き』2011年版 p. 240, 2008補訂版 p. 184をよく読み、応募条件にご自身が該当するかどうかをご確認のうえお申込みください。なお、被災地域在住の学生は23年度に関しては、返還にあたって利子が必要な奨学金は条件を一定程度緩めて申込が可能ないように配慮いたします。希望者は個別にお問合せください。

●申込締切 5月20日必着

●申込方法 『学習の手引き』巻末様式16を郵送

なお、今年度の「東北福祉大学通信教育部奨学金」は、被災学生への学費減免(p. 3参照)にあてさせていただく予定のため、申込みは募りません。ご了承ください。

10 事務室休業日のお知らせ

4月29日(祝)は事務室休業日です。今後の23年度の事務室休業日は『試験・スクーリング 情報ブック2011』p. 6～17のカレンダーに記載のとおりです。なお、23年度のカレンダーほか『試験・スクーリング 情報ブック2011』記載の内容は通信教育部ホームページからPDFファイルでダウンロードできます。

なお、4月30日～5月7日をはじめ、仙台でスクーリングを開講している日には通信教育部事務室は開室しています。ご質問などの際は遠慮なくお立ち寄りください。なお、スクーリング対応が優先のため、日曜日・祝日のお電話は緊急連絡を除きご遠慮ください。

11 オンデマンド・サーバー停止のご案内

オンデマンド授業、ならびにレポートアドバイスなどが掲載の「オンデマンド授業 デモ版」は5月3～5日、6月25・26日は視聴できません。インターネット配信授業実施のためです。ご了承ください。

12 『東北福祉大学研究紀要』刊行のご案内

『東北福祉大学研究紀要』第35巻が4月末に刊行予定です。希望者は、本学図書館1階にて無料で配布しております。

スクーリング・アンケートより

スクーリング受講者へのアンケートから、各科目の感想を抜粋いたしました。

●介護概論

- ・私は今まで介護＝身体的介護と認識していたので、そうではないこと、介護の概念を知ることができてよかったです。
- ・介護や医療を行う側が高齢者に対してどんなイメージを持つかによってサービスの質が左右されることを知り、考えさせられた。
- ・介護実践の特性の中で、知識には「形式知」と「暗黙知」があるということ。それから「ニーズ・デザイン・デマンド」の関係のことなど、実際の仕事をする上で役に立つ知識が新たに得られたことはとてもよかったです。

●児童・家庭福祉論

- ・1日目の虐待の講義はショッキングでした。自分にはまだ子どもはいませんがやってしまうかも…と思わされる事例も多くドキッとしました。身体的、表面的に表れない虐待というのは、多かれ少なかれ、施設などでは日常的にあるのかな…と考えてしまいました。
- ・現在は少子化であり、子ども自身が周りに遊ぶ相手もいなくさびしい状況であると思いますので、地域のお年寄りや社協・デイサービスセンターが一緒になって子どもをみんなで育てることが大切だと思いました。

●福祉法学・更生保護制度論

- ・非行に走る少年たちの家庭環境・学校環境がよくないので非行に走るのであって、まわりが気を使ってあげればひどい状況・犯罪に至るまでに何とか手立てはできるのだということに気付いた。

●カウンセリング演習Ⅱ

- ・個人へのカウンセリングとコンサルテーションは見方がまったく違うということを知り、さらに文献などを参考に知見を深めたいと思った。
- ・講義の内容ではないのですが、講師の先生がカウンセラーのお仕事をされているだけに受講生の発言に「なるほど」「うん、うん」など、あいづちが必ずあるので、安心して発言ができました。発言が終わった後、「ありがとうございました」の一言で自分を認められたような安心感がありました。いつでもどこでも傾聴の姿勢は相手の行動を変容させると感じました。